

# Tuuli

トゥーリ

2014年10月15日発行



大きな台風が二つ、立川近辺にはあまり大きな被害もなく通り過ぎました。台風一過で空がことのほか青く高く感じられます。

さて皆様は朝のNHKの連続テレビ小説をご覧になっていらっしゃるでしょうか？ドラマの舞台は大正時代、ウイスキーの製造方法を学びにスコットランドに修行に出かけた青年がかわいい青目のスコットランド人女性をお嫁さんとして連れて帰ってくるころから話が始まります。今は国際結婚も珍しくなくなりました。至誠ホームの職員の中にも国際結婚のカップルが何組ありますが、幸せの筆頭として挙げられるのが橋本ホーム長とライヤさんです。福祉の先進国フィンランドで学び、人生のパートナーのライヤさんと出会われました。きっと同じようなご苦労があったのだろうとエリーさんとライヤさんがダブって見えます。すると「まさるさん」が「まさあきさん」に聞こえてきました。是非一度ご覧ください！



## 至誠学舎立川合同バザー 終了のお礼



今年は暑すぎず、寒すぎずちょうどよいバザー日和となりました。地域の方々が楽しみにしてくださっているバザー会場には皆様のご協力のおかげでたくさんの品物が集まりました。

主催者発表(?)では来場者は1,500名でした。3事業本部合同バザーということでお年寄りに交じって若いお母さんに連れられた小さい子どもさんの姿もたくさん見かけました。

そして今年もまた、たくさんのボランティアさんにお手伝いをいただきました。品物の仕分けと値段つけに3日間で延べ32名、また当日は100名近いボランティアの皆様がお年寄りの介助や売り場、会場整理などの仕事を担っていただきました。

そして何よりの嬉しいのがお年寄りの皆さんが「とても楽しかった!」と言ってくださったことです。ボランティアの皆様のおかげです。本当にありがとうございました!

## 錦特養ボランティア活動報告会を行いました

去る10月2日(木)錦特養のボランティア活動報告会を行いました。今年はお習字の指導や特養の利用者の生活を援助してくださっている鈴木幸子さんにお話を伺いました。

「社協で『家庭の介護講座』を受けた後、何か社会にかかわってみたいとの思いで27年間無理をせず至誠ホームでボランティアを続けてきました。お掃除のほかにシーツ交換、食事介助などのお手伝いをしました。何のためにこうするのか職員さんに教えてもらいながらでした。

小さな繕いものは自分でします。大きなものは昔はフロアにポータブルミシンがあったのですが今はハウスに回します。洗濯物の整理では名前がどこに書いてあるのかを見つけるのにとっても苦労します。たたんだものを衣料の棚に入れ、各人のお部屋で衣装ケースに収めます。背が高くないので困ることもあります。衣類に「鈴木さん、これをお願いします。」と書かれてあるメモ書きが添えてあると、とても感激します。コミュニケーションはとても大事です。ちょっと勇気を出してお年寄りに声掛けをすると笑顔が返ってくる。すると頑張らなきゃあとと思います。

失敗もありました。大事には至らなかったのですがお年寄りに安請け合いをしてしまったことがあります。ボランティアはお年寄りの状況をすべて把握していないので自己判断をしてはいけないと思いました。介護方法は変わると思いますのでその時は遠慮なく教えて下さい。

お習字クラブでは特にお教えすることはないのですが右手に麻痺があるので左手で一生懸命書いておられるのを見るとかえって元気をいただきます。これからも長く続けていきたいと思っております。」

ボランティアやご家族の皆様、ご参加いただきありがとうございました!



# 車いすに乗っておられるお年寄りの送迎について



至誠ホームではボランティアを始めてくださる方々に車いすの講習を行っています。歩行が困難なお年寄りにとって車いすは安全に移動するために欠くことのできない補助具だからです。

お年寄りが怪我なく、安心して移動できるよう、チェックして頂きたいところを挙げてみます。今一度ご確認ください。

◆ お年寄りの皮膚はとても薄く傷つきやすくなっています。肘や足先を壁やドアにぶつけないために

①肘がアームレスト（肘置き）にある場合、膝の上に置いてもらう。

②フットレスト（足置き）に乗せている足先の長さを常に気を付ける。

◆ お年寄りのなかには何かにぶつかっても「痛い!」と訴えない方もいらっしゃいます。万が一何かにぶつかった場合、下記の内容を必ず職員に伝えてください。

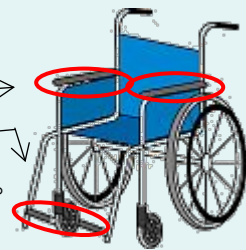
①いつ、②どこで、③どのような状況で、④何に、⑤どこをぶつけたのか。

ぶつかった時は何の異常がなくても、しばらくすると青あざができてきたり、皮膚に傷がついている場合もあります。ボランティアの皆様から詳しい状況を伺っていると介護職員や看護師は安心して適切な処置ができます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

このほかにも、移動前に姿勢が崩れていたり、移動中に姿勢が崩れてきたことに気が付かれた場合はお近くの職員にお知らせください。

移動時間もお年寄りにとってはボランティアの皆さんと1対1で向き合える楽しい時間でもあります。ボランティアの皆様もどうぞゆっくりとその時間を楽しんでください。

車いす介助の手引きやチェックポイントを書いたワークシートをボランティアコーナーで用意しています。必要な方はどうぞ遠慮なくお声掛けください。



## 自然災害時のボランティア活動について



何十年に一度という豪雨や地震そして台風と異常気象が続きます。「台風や地震、そして大雪の場合、ボランティア活動はどうしたらよいのでしょうか?」というご質問を受けました。

まずはボランティアさんの安全が第一です。どうぞ無理なさらなでください。先ほどの台風時にも「今日はこんなお天気なのでボランティア活動をお休みします。」とお電話を下された方も

いらっしゃいました。その一本の電話でボランティアさんの無事が確認できます。本当にありがたいことです。

もちろんこちらからもその日に活動を予定しておられるボランティアさんにはできる限り電話などでご連絡を差し上げます。ご自身の身の安全が第一です。どうぞくれぐれもお無理のないようお願いいたします。また電話番号や住所に変更があった場合はどうぞボランティアコーナーまでお知らせください。



## フィンランド研修生のご紹介



今年もフィンランドからお二人の研修生が至誠ホームにいらっしゃいました。Hanna Poutiainen（ハンナ・ポウティアイネン）さん（写真左）とPaivi Pajala（パイビ・パヤラ）さん（写真右）です。ハンナさんは看護師として、パイビさんは施設長としてパキラホームで働いておられます。お二人の共通点は猫が大好きというところです。そしてなんとパイビさんは10人のお子さんがいらっしゃいます。日本に来ての感想は人々がとても温かいことだそうです。どうぞお二人をお見かけになりましたら「テルベ」（ようこそ）とお声掛けください！



発行 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム 統括事務局 企画調整 ボランティア担当 寺澤育代・加藤久美子

連絡先 〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel: 042-527-0035 Fax: 042-527-2646  
E-mail: [shisei-volunteer@shisei.or.jp](mailto:shisei-volunteer@shisei.or.jp) HP: <http://www.shisei.or.jp>